【 ATLANTIS English Communication *Basic* One-year Syllabus 】

１．本書の特色

**特色１・基礎的基本的内容の「繰り返し」学習**

外国語を通じてコミュニケーション能力を総合的に育成するため、実際の言語使用場面や言語の働きに留意しました。特に英語を日常使用している人々にとって自然な表現であることに重きを置き、本書の英語に触れることで、生きた英語が身に着くよう構成した。聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的・基本的な技能を、繰り返し学ぶことで定着していくことを期待します。

**特色２・コミュニケーションへの興味関心の向上と英語学習へのモチベーション持続**

生徒の興味関心を強く引き付けるため、レッスンの主題となるトピックを入念に選定しました。また、生徒にとって興味深いトピックは学習意欲が継続していくことにもつながると期待します。多様なものの見方や考え方を養うとともに、公正な判断力が養えるような題材にも挑戦しました。様々な価値観に触れることで、国際社会に生きる日本人としての自覚を高め、また自分の意見を表現し、社会に参画できるような態度を育成していくことをねらいとします。

２．編修の基本方針

教育基本法第二条の目的を達するために、以下を編修の基本方針としました。

①　言語の特性を幅広く学びながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容としました。

②　多様な価値観を学んだり、その内容を他者と交換し合ったりすることで、互いの意見が尊重される経験を積み重ねられるよう留意しました。

③　英語の実用性等を学ぶ中で、自他の違いを重んじる態度を育み、主体的に社会に貢献しようとする態度を養える内容としました。

④　生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を育成するため、世界を舞台とした題材を展開することで視野を広げることができるようにしました。

⑤　進んで外国の文化を理解しようとする態度を育成するとともに、国際理解や国際感覚を養い、国際社会に関心が持てるような内容を厳選しました。

３． 各レッスンの構成と学習指導要領との対照表、及び１レッスンにおける授業時数案

※以下の構成をより深く理解しご活用していただくために、教科書ⅲ～ⅳ（目次後の巻頭ページ）を合わせてご覧ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 本書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当時数 |
| １．タイトルページ英語を通して幅広い知識と国際感覚を養う。 | 内容の取扱い　中学校における学習の接続と「コミュニケーション英語Ⅰ」」における学習への円滑な移行のため、主に身近な場面における言語活動を経験させながら、中学校における基礎的な学習内容を整理して指導し定着を図るものとする。 | 各レッスン１ページ目 | １ |
| ２．ウォームアップレッスントピックに深く関わる問題を通して、様々な価値観を学び、視野を広げる。 | 内容（１）[中学校学習指導要領第２章第９節の第２の２の（１）ア、イ]１の目標に基づき、中学校学習指導要領第２章第９節の第２の２の（１）に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。内容の取扱い　中学校における学習の持続と「コミュニケーション英語Ⅰ」」における学習への円滑な移行のため、主に身近な場面における言語活動を経験させながら、中学校における基礎的な学習内容を整理して指導し定着を図るものとする。 | 各レッスン２～３ページ目 |
| ３．文法ページ文法の理解が進むようできるだけシンプルな説明内容に厳選した。文法の基礎的基本的な理解を基に、実際の場面での運用力を高める。 | 内容（２）[中学校学習指導要領第２章９節の第２の２の（２）のア]（１）に示す言語活動を効果的に行うために、それぞれの生徒の中学校における学習内容の定着の程度等を踏まえた上で、中学校学習指導要領第２章９節の第２の２の（２）のアに示す事項を参照しつつ、適切に指導するよう配慮するものとする。 | 各レッスン４ページ目（６ページ目） | １～２ |
| ４．リーディング様々な題材に触れることで、国際感覚を養い、また他国を尊重し、国際社会についての見識を広げる。 | 内容（１）[中学校学習指導要領第２章第９節の第２の２の（１）ウ]１の目標に基づき、中学校学習指導要領第２章第９節の第２の２の（１）に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。第２節　内容の取扱いにあたっての配慮事項（１）、（２） | 各レッスン５～６ページ目（６～７ページ目） | ３ |
| ５．リスニング、表現とコミュニケーションレッスンのトピックに関わる内容と、自分自身のことについて学べる内容をバランス良く配置した。ペアや３～４人のグループ、クラス全体で行う活動を行うことで、自他を尊重する態度を養う。 | 内容（１）[中学校学習指導要領第２章第９節の第２の２の（１）ア、イ、ウ、エ]１の目標に基づき、中学校学習指導要領第２章第９節の第２の２の（１）に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。第２節　内容の取扱いにあたっての配慮事項（４） | 各レッスン７ページ目（８ページ目） | １ |
|  |  | 計 | ６～７ |

３．One-year Syllabus

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **月** | **レッスンの構成・内容** | **題材内容** | **扱う文法事項等** | **授業数** |
| 4 5 67/89101112123 | はじめに辞書の使い方アルファベット | 大文字と小文字を並べて記載し、アルファベットにより慣れ親しむことをねらいとする。また、辞書のページにはペーパー版の辞書と電子辞書の両方の使い方を紹介し、英語学習、家庭学習の基盤を整えていく。 | 本書の活用方法辞書の使い方アルファベット大文字小文字辞書の使い方 | ３ |
| 異なる発音（フォニックスr） | アルファベットの音読み、名前読みの違いを知る。日本語の漢字に音読み訓読みがあることと同じように、英語のアルファベットも1文字１音になるとは限らないことを、身近な語を例にしながら学んでいく。 | フォニックス |
| Classroom English | 教室でよく使う表現について学ぶ。 | 教室英語表現 |
| ウォームアップ １～４ | 母音と子音について学ぶ。生徒にとってより身近でよく知っている単語、かつ実際の英語使用場面においてもよく使われる単語を厳選した。英文はすべて日常場面で用いられる自然な表現であるため、発音のルールに縛られず、英文をそのまま覚えることで英語らしい発音を身に付ける。 | 母音と子音 | ２ |
| 主語と述語動詞 | 本Lessonに入る前に、英語の文の基礎的基本的なしくみ（語順）について復習する。 | **英語の語順（日本語の語順との違い）** | １ |
| **Lesson 1**  Where are you from?  | **『**世界中の人々と国々**』**世界地図をもとに、それぞれの登場人物が自分の出身国について尋ね合う。外国人と初めて対面した時によく使われる表現を学びつつ、日本人としてどのように答えるかについても学ぶ。 日本人としてのアイデンティティが深まることを期待する。 | **主語と述語動詞（現在形）****現在形のYes / No 疑問文**リーディング　７５語 | ６ |
| **Lesson 2** This is my family.  | **『家族と家族構成』**　今日の社会における様々な家族の形態を考慮し、生徒が自分自身の家族について、英語でも表現できるよう構成した。それぞれの家族の構成を尊重し合うことは個人の価値を尊ぶことにもつながる。身近なことをきちんと表現できることで自己肯定感等が深まるよう配慮した。 | **人称代名詞の所有格****過去形／過去形**の **Yes / No 疑問文**リーディング　８７語 | ６ |
| **Lesson 3** We are going to take a trip.　 | **『タイへの旅行』**　「タイに旅行する」ことを題材とし、旅先で起こり得る会話を想定した。また、日本以外の国に視野を広げることで、日本では当たり前に起きていることが必ずしも他国と同じではないことを知る。 | **未来形be + going to +動詞の原形****助動詞／WH疑問文**リーディング　９９語 | ６ |
| **Lesson 4** How do you spend your free time?  | **『趣味／珍しい趣味』**生徒にとって身近な題材の１つである、「自分の好きなこと」について表現し合う。これは、外国人と円滑なコミュニケーションを行う上でも大切な表現力となる。また、将来どんな職業に就きたいかなどを自己表現する基盤づくりを企図し、生徒自らが、自分は何が好きであるかを知り、それを表現する。 | **動名詞**リーディング　１１５語 | ６ |
| **Lesson 5** What do you do?  | **『職業』**前課で学んだことを基に、この課では職業についてより深く考察する。世界を舞台に活躍する日本人を題材にすることで、職業観を広げ、また英語を学ぶ意義についても考察する。 | **不定詞**リーディング　１３４語 | ６ |
| **Lesson 6**What can I do to help?  | **『**ボランティア活動‐人々や地域に役立つ在り方**』**様々なボランティア活動を知るともに、海外におけるボランティア観にも触れられるよう配慮した。３人の若者の意見を読むことで、自他への敬愛や協力を重んじる態度を育成しつつ、自分には何ができ、どのように社会に参画できるかを考えていく。また環境保全や地域貢献などのボランティア活動や海外におけるボランティア精神への興味と関心と正しい知識を持ち、公共の精神に基づき、自分自身が主体的に社会に参画し、行動を起こしていく担い手になることを期待する。 | **that 節**リーディング　１４７語 | ６ |
| **Lesson 7** Holidays and Special Days | **『アメリカと日本におけるクリスマス』**アメリカにおける代表的な祝祭日についての知識を広げながら、日本人にとっても身近なイベントとなったクリスマスについて、その起源や意味、過ごし方について学ぶ。 | **形容詞の働きをする分詞**リーディング　１６４語 | ７ |
| **Lesson 8** Great Inventions  | **『**重要で有用な４つの発明**』**　世界で発明されたものの中でも特に、生徒にとって身近な発明品を取り上げ、それらのエピソードを紹介した。いかに技術の進歩が素晴らしいかを知るとともに、発明に至るまでのアイディアがいかに大切な過程であるかを学ぶ。 | **受動態****現在完了形(Have you ever? )**リーディング　１７６語 | ７ |
| **Lesson 9** Better than the best  | **『ディベート』**　　相手の意見を尊重しながら、自分の考えを伝えるにはどのように表現したらいいかについて学ぶ。意見を述べることは日本人にとってはあまり得意なことではないかもしれないが、異なる意見を知り、自分の考えを述べることもまた豊かな情操と道徳心につながっていく。たくさんのロールプレイ等の実践を通して、ディベート力を身に付ける。 | **比較級****最上級**リーディング　１９１語 | ７ |
| **Lesson 10** Fairy Tales ( Reading )  | **『赤ずきんちゃん』**　日本人にとって馴染みのある「赤ずきんちゃん」を英語で読むことに挑戦する。一年間学習した英語でどれぐらい理解できるのかを実感し、これまで身に付けた英語力への自信につなげたい。 | **関係代名詞**リーディング　３０３語 | ７ |
| Let’s sing a song – Danny Boy, Deck the Halls  | 英語の歌や文化的背景に慣れ親しむ。 | 英語の歌 | 適宜 |
| 本書であつかう単語、表現の一覧 | 各レッスンの新出単語、慣用表現の一覧表をまとめた。一年間の総復習に活用する。 | 単語、慣用表現等 | 適宜 |
| 発音への手掛かり | 図、写真、簡単な説明を使用し、できるだけシンプルにした内容のある文を通して英語らしい発音を身に付ける。 | 発音練習 | 適宜 |
|  | 計７０ |
| ※ **Workbook**等を随時活用する。 |